

取扱説明書及び部品表

Takakita

ベールフィード

3Pタイプ BF1310 ・ BF1610
フォークリフトタイプ BF1310F ・ BF1610F



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**パールフィーダ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

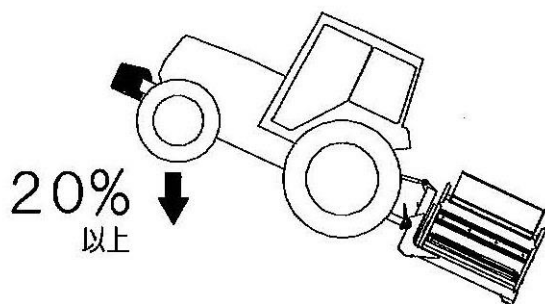
目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	15
各部の名称とはたらき	16
トラクタ(フォークリフト)への装着	18
1. 3点リンケージへの装着の仕方	18
2. フォークリフトへの装着の仕方	19
3. 油圧ホースの接続	19
運転に必要な装置の取扱い	20
1. フロアコンベア・解体装置	20
2. 前後ステー	20
3. 排出口すべり台	20
作業方法	21
1. 作業手順と要点	21
2. 移動するときは	22
3. ロールベールの積込み	22
4. 排出	22
5. 排出作業の方法	22
6. ロールベールについて	23
7. ロールベールの保管方法	23
8. 傾斜地での走行や作業	23
9. 草詰まりした場合の処置方法	23
作業前の点検について	24
1. 点検一覧表	24
簡単な手入れと処置	25
1. フロアコンベアチェーンの張り調整	25
2. ローラーチェーンの張り調整	25
3. 日常の管理について	26
4. 長期格納時の手入れ	26
5. 各部への注油・グリスアップ	27
不調診断	28
付表	29
1. 主要緒元	29
2. 主な消耗部品	29

！安全に作業するために

(4) 装着時の前後バランス確認

3点リンケージに装着して持ち上げたときに、総質量の20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。もし、不足するときはフロントウエイトを取付けて、20%以上を確保する如果不能なければ装着しないでください。



(5) バランスウエイトの取付け

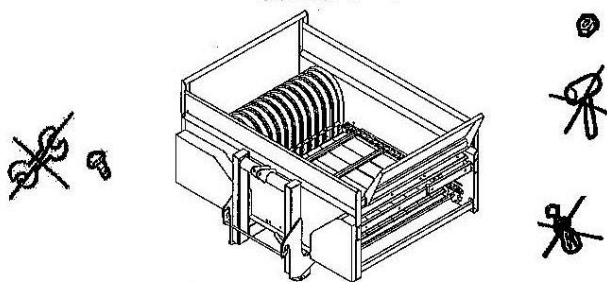
トラクタのバランスウエイトは指定された部分に取付け、指定されたウエイト以外は取付けしないでください。

(6) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けしないでください。

また、改造はしないでください。

改造ダメ！



(7) 使用目的以外への使用禁止

ロールベールを解体することを目的として造られた機械です。

他の目的には使用しないでください。

(8) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

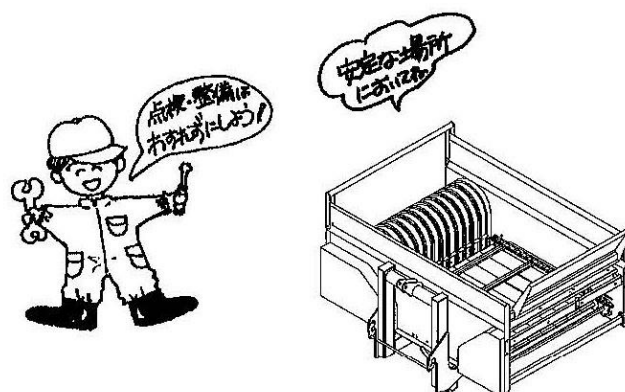


(2) 始業点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

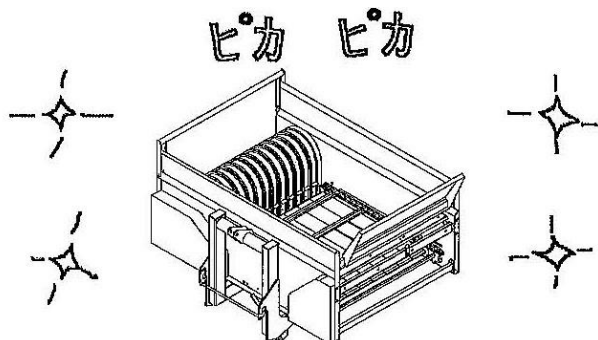
点検・整備・修理・掃除するときは交通の危険がなく、機械が転倒したり動いたりしない平坦で安定した場所でトラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



⚠ 安全に作業するために

(4) 機械を常にきれいに

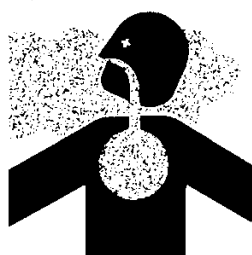
火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取り除き機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。

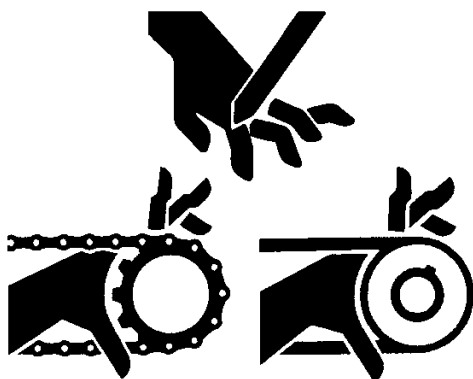
エンジン始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



(6) カバー類を必ず取付ける

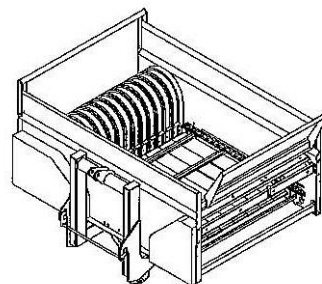
カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずエンジンを止めてから行ってください。

また、取外したカバー類は必ず元通りに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



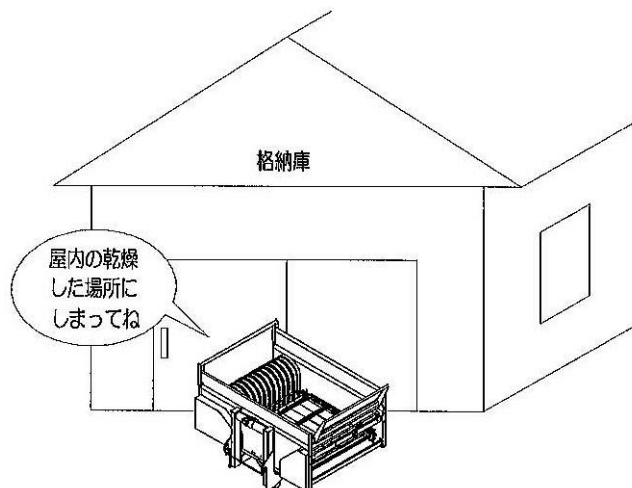
(7) 注油・給油をするときは

エンジンを止め、回転部分が完全に停止してから行ってください。



(8) 長期格納するときは

機械を清掃し、回転部及びチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。



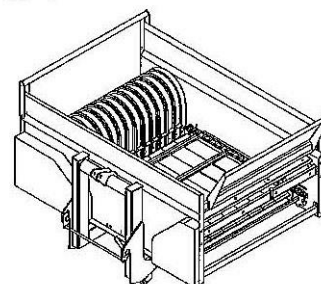
3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

また、トラクタの油圧の昇降は付近に人や器物がないことを確認してから行ってください。

近づくとあぶないよ！



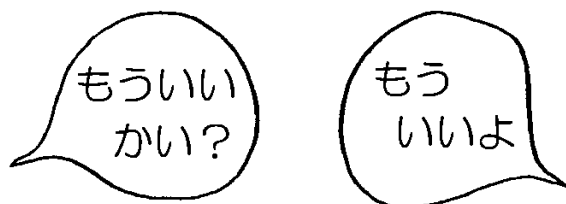
！安全に作業するために

(2) 回転中は危険です

回転部には近寄らない、触らないを守ってください。

(3) 2人以上で作業するときは

2人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4) 草の巻き付きを取り除くときは

エンジンを必ず止め、回転部が完全に停止してから行ってください。

(5) エンジンを始動するときは

変速レバーを中立にし、周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。

守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

安全確認



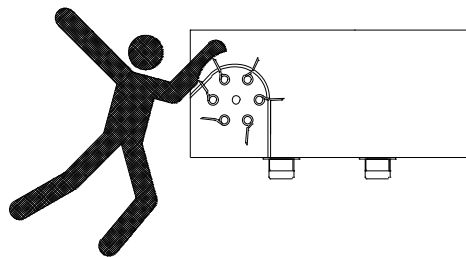
(6) 急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止

スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起伏の多いほ場や傾斜地は危険です。作業スピードは極力低くして作業を行ってください。

(7) 回転中の解体装置やコンベアバー・コンベアチェンには触れない

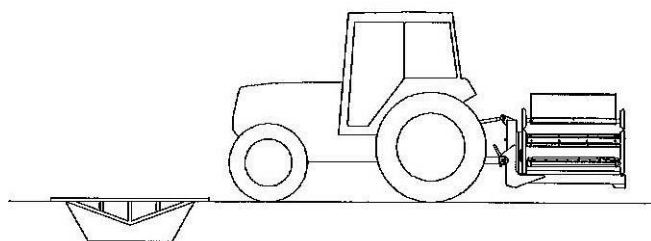
回転している解体装置やコンベアバー・コンベアチェンに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ重傷を負うことがあります。



(8) 溝や段差を横断したり軟弱な所を通るときは

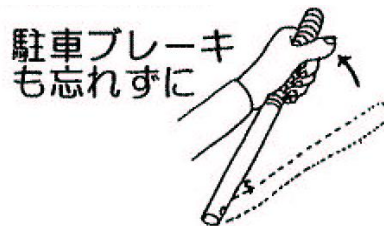
スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。

ゆっくりと



(9) 作業途中で運転席より離れるときは

機械を平坦な場所に降ろし、エンジンを止め、駐車ブレーキをかけトラクタに車止めをしてください。



⚠ 安全に作業するために

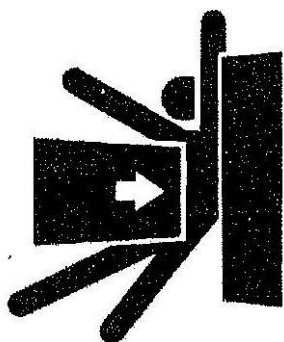
(10) 傾斜地作業は禁止

傾斜地での作業は、危険ですので絶対に行わないでください。必ず平坦地で作業してください。

**傾斜地では
作業しない**

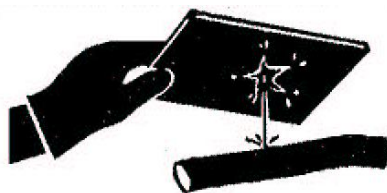
(11) 後進して作業するときは

後方に障害物のないことを十分に確認し、本機と障害物の間に人や動物を挟まないようにしてください



(12) 高圧油に注意してください

- ①圧力がかかり噴出した油は、皮膚に浸透する程の力があり、傷害の原因になります。
- ②高圧油により傷害を防止するために配管・ホースなどの取外し前には必ず残圧を抜いてください。
- ③圧力をかける前に配管・ホースなどは正しく確実に締付けてください。
- ④非常に小さな穴からの油漏れは、ほとんど目に見えないことがあります。手で油漏れを探すことは止めてください。必ず、保護メガネをかけ、紙などを使用して調べてください。



- ⑤万一、油が皮膚に浸透したときは、強度のアレルギーを起こす恐れがあるので、すぐ医師の診療を受けてください。



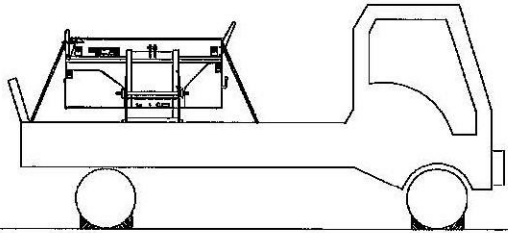
⚠ 安全に作業するために

4. 輸送するときは

(1) トラックなどへ積み込み・積降ろしは

平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを止め、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。

積み込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。



以上、機械の取扱いで注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも本文の中で⚠印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

⚠ 安全に作業するために

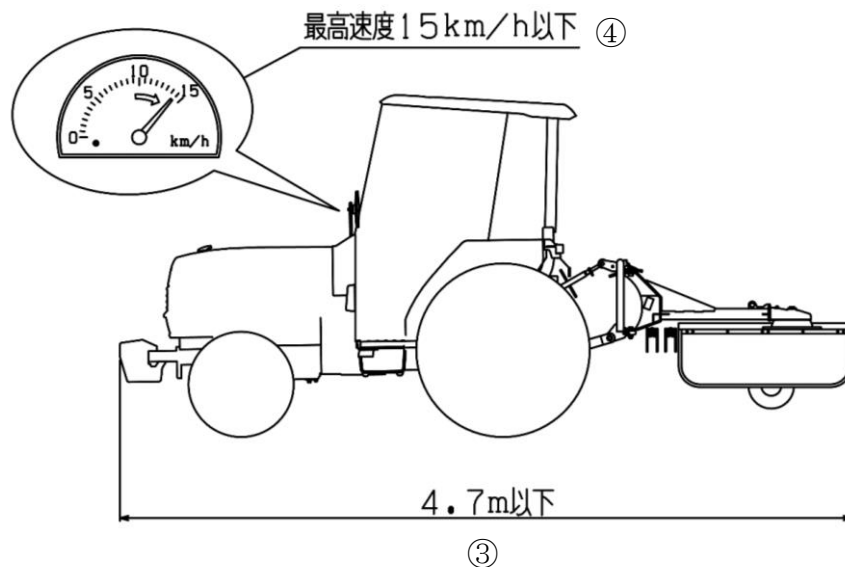
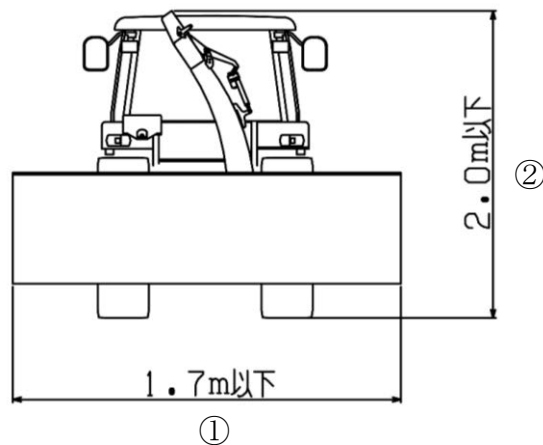
5. 公道走行するときは

必要な運転免許証について

通常は小型特殊免許/普通免許で運行可能ですが、トラクタに作業機を装着した状態の寸法が下表①~④の数値をひとつでも上回る場合、大型特殊免許(農耕用に限る、も含む)が必要となります。

- ① 全幅 1.7 m
- ② 全高 2.0 m
- ③ 全長 4.7 m
- ④ 最高速度 15 km/h

下図を参考に確認をしてください。



⚠ 安全に作業するために

灯火器類については下記フローチャート（１）～（４）を確認してください。

（１）作業機的全幅に応じて増設する取付部品

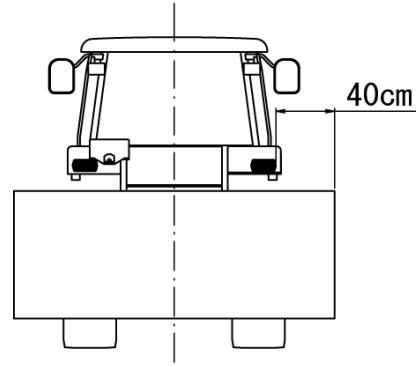
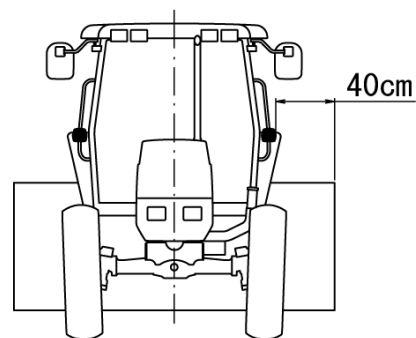
トラクタの灯火器の取付け位置が全て最外側から40cm以内にある。

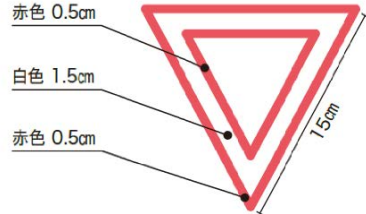
YES

NO

追加装備は
必要ありません。

前面:A.白色反射器
後面:B.赤色反射器
C.制限標識
を取付ける必要があります。

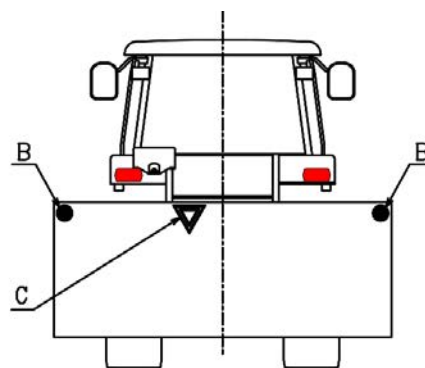
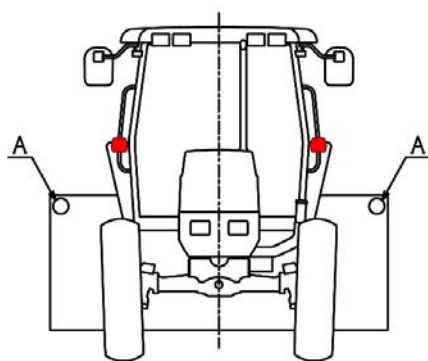


A.白色反射器	B.赤色反射器	C.制限標識
		 赤色 0.5cm 白色 1.5cm 赤色 0.5cm 1.5cm

装備の取付け位置

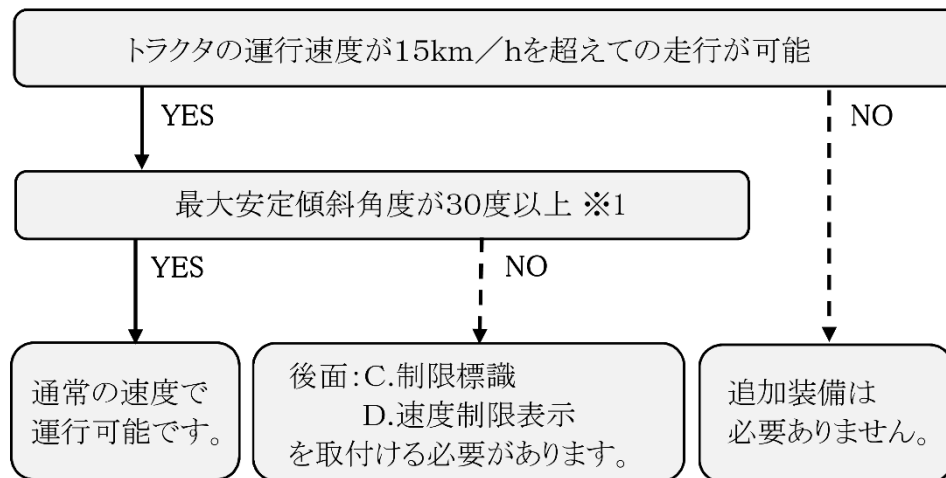
A・Bは前方・後方のできるだけ両端に左右対称になるように取付けてください。Cは後方から確認できる位置に取付けてください。

（取付け例）



安全に作業するために

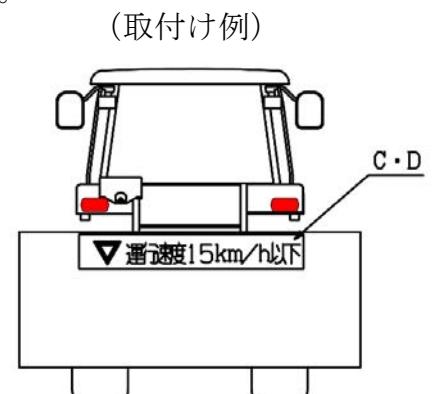
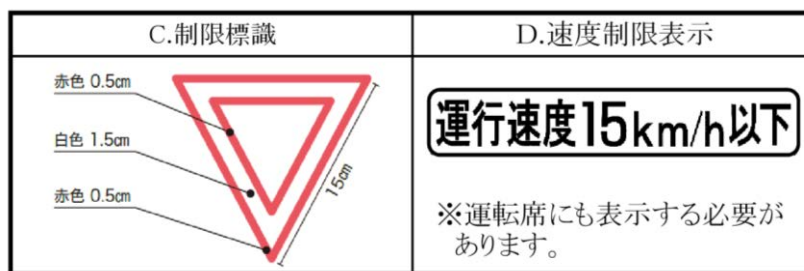
(2) 速度制限表示の取付



※1 運行速度が15km/hに制限されないトラクタと作業機との組み合わせについては日農工のホームページ(<http://www.jfmma.or.jp>)をご覧ください。
最大安定傾斜角度が不明な場合は、運行速度15km/h以下で走行してください。

制限標識の取付け位置

C・Dは後方から確認できる位置に取付けてください。
Dは運転席にも表示する必要があります。



⚠ 安全に作業するために

(3) コンビネーションランプ、後退灯の視認性による取付部品

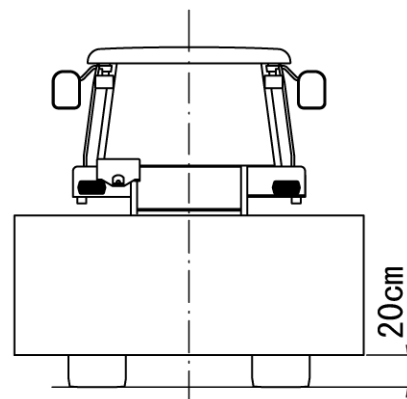
作業機の機体最下部を地面から約20cm上げた状態で後方から確認し、トラクタのコンビネーションランプと後退灯が視認できる。

YES

追加装備は
必要ありません。

NO

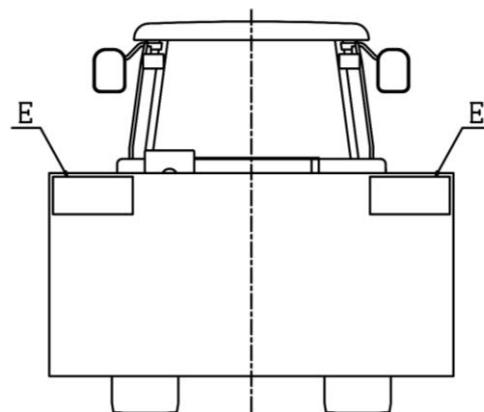
- ・後退灯のみの場合はトラクタ側で移設してください。
 - ・コンビネーションランプは下図を参考に、取付けてください。
- ※販売店に相談してください。



装備の取付け位置

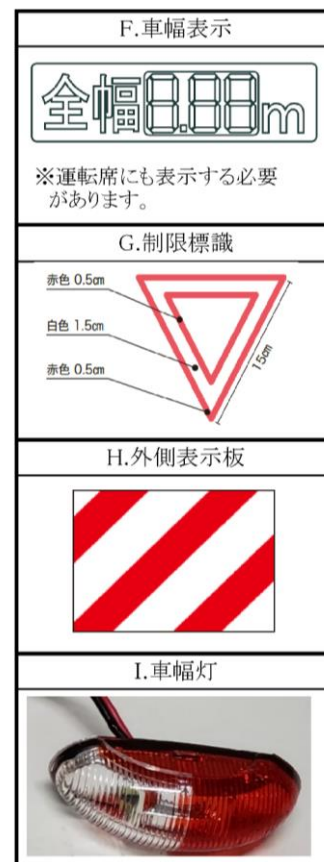
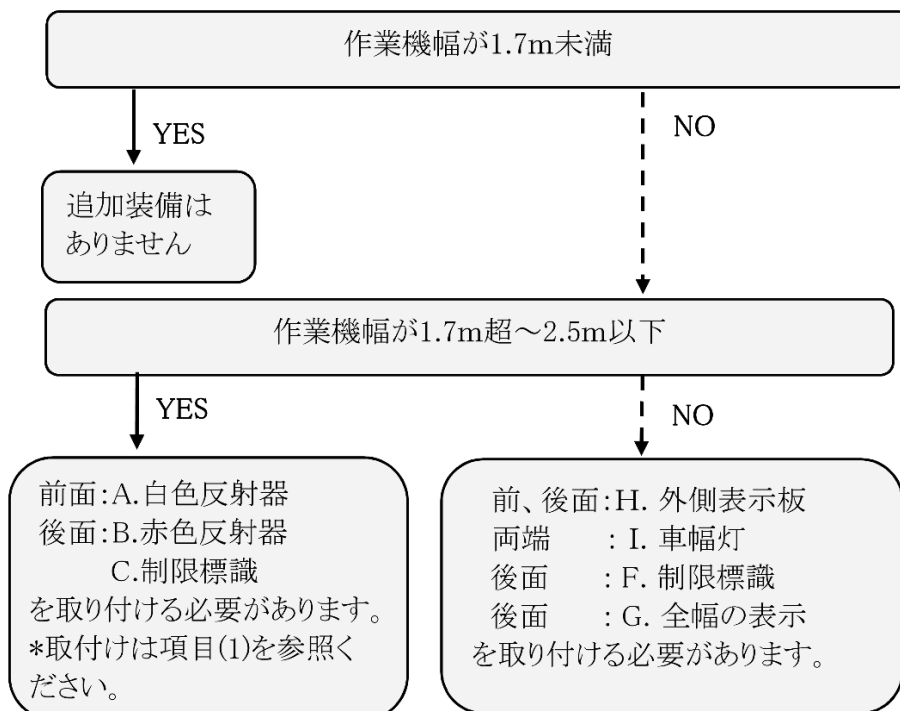
後方の両端を確認できる位置にできるだけ左右対称になるように取付けてください。

(取付け例)



⚠ 安全に作業するために

(4) 作業機幅制限による取付部品



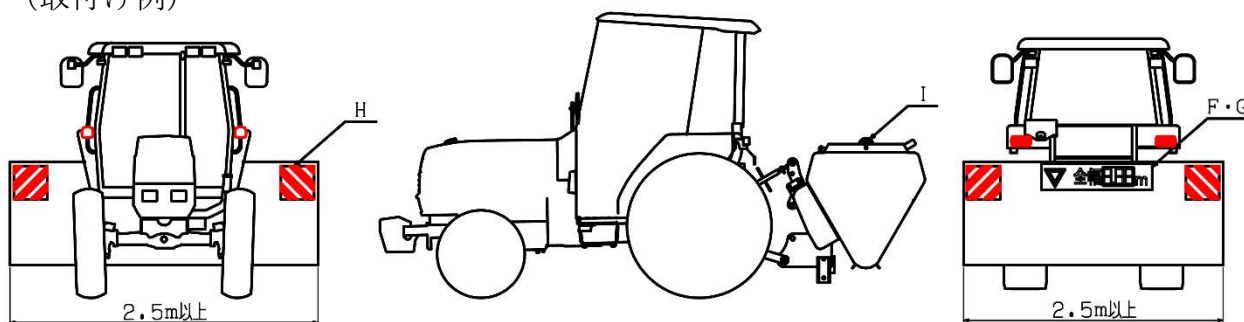
装備の取付け位置

F・Gは後方から見やすい位置に取付けてください。

Hは前後、両端に赤白ラインが「ハの字」になるように取付けてください。

Iは両端に前方が白、後方が赤になるように取付けてください。

(取付け例)



- ・全長12m、全幅2.5m、全高3.8mのいずれかを越える場合は、「特殊車両通行許可」が必要です。

道路管理者（国道：地方道路局、県道：各都道府県、市道：各市町村）に特殊車両通行許可申請を行なってください。

道路法および車両制限令にもとづき特殊車両が道路を走行するには許可証が必要となります。

- ・詳細は日農工「公道走行ガイドブック」（<http://www.jfmma.or.jp/kouido.html>）をご覧ください。
- ・その他不明な点は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

安全に作業するために

(5) ベールフィーダを装着した状態で公道走行するときは

①ベールフィーダの機体幅は 1.7m 超～2.5m 以下の範囲内なので下記の部品が必要となります。

ベールフィーダ前面：A.白色反射器 2 枚

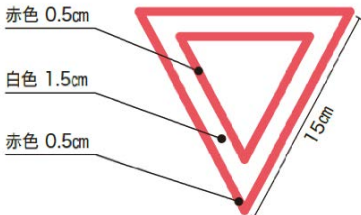
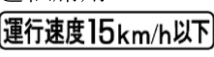
ベールフィーダ後面：B.赤色反射器 2 枚

C.制限標識 1 枚

②15km/h を超えての走行が可能なトラクタで公道走行する場合は下記の部品が必要となります。

ベールフィーダ後面：D.速度制限表示 作業機用 1 枚

運転席用 1 枚

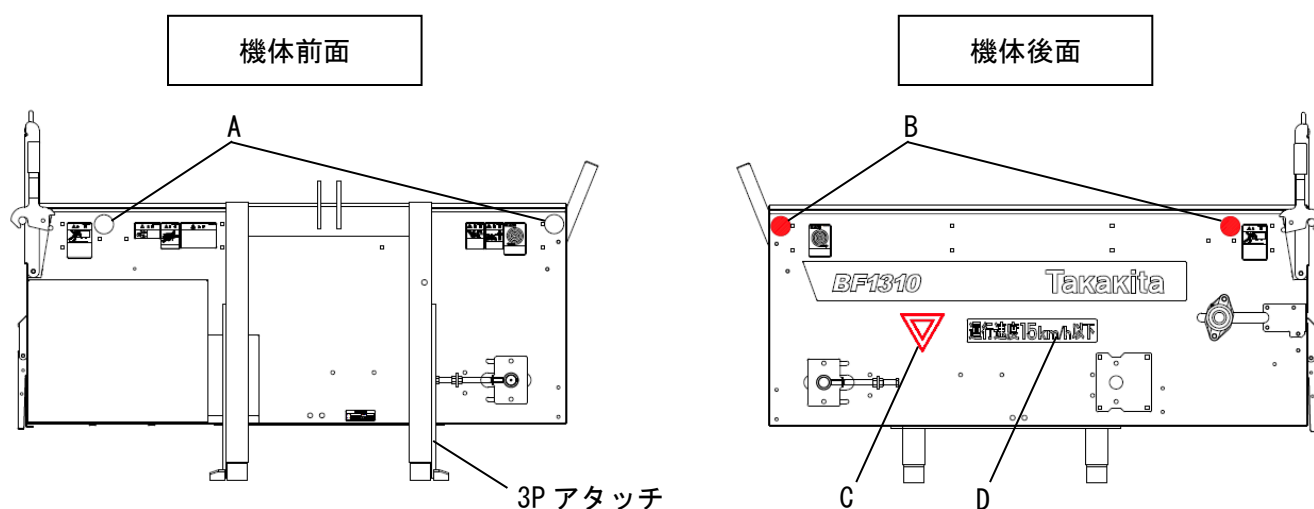
A.白色反射器 部品コード 00120-6002-280	B.赤色反射器 部品コード 00120-6002-270
	
C.制限標識 部品コード 00120-6002-260	D.速度制限表示 部品コード(作業機用) 00120-5200-010 部品コード(運転席用) 00120-5200-020
	作業機用  運転席用 

取り付け位置は下図を参考にして下さい。

注意

下図は 3P アタッチが標準の向きで取り付けられた時の図です。

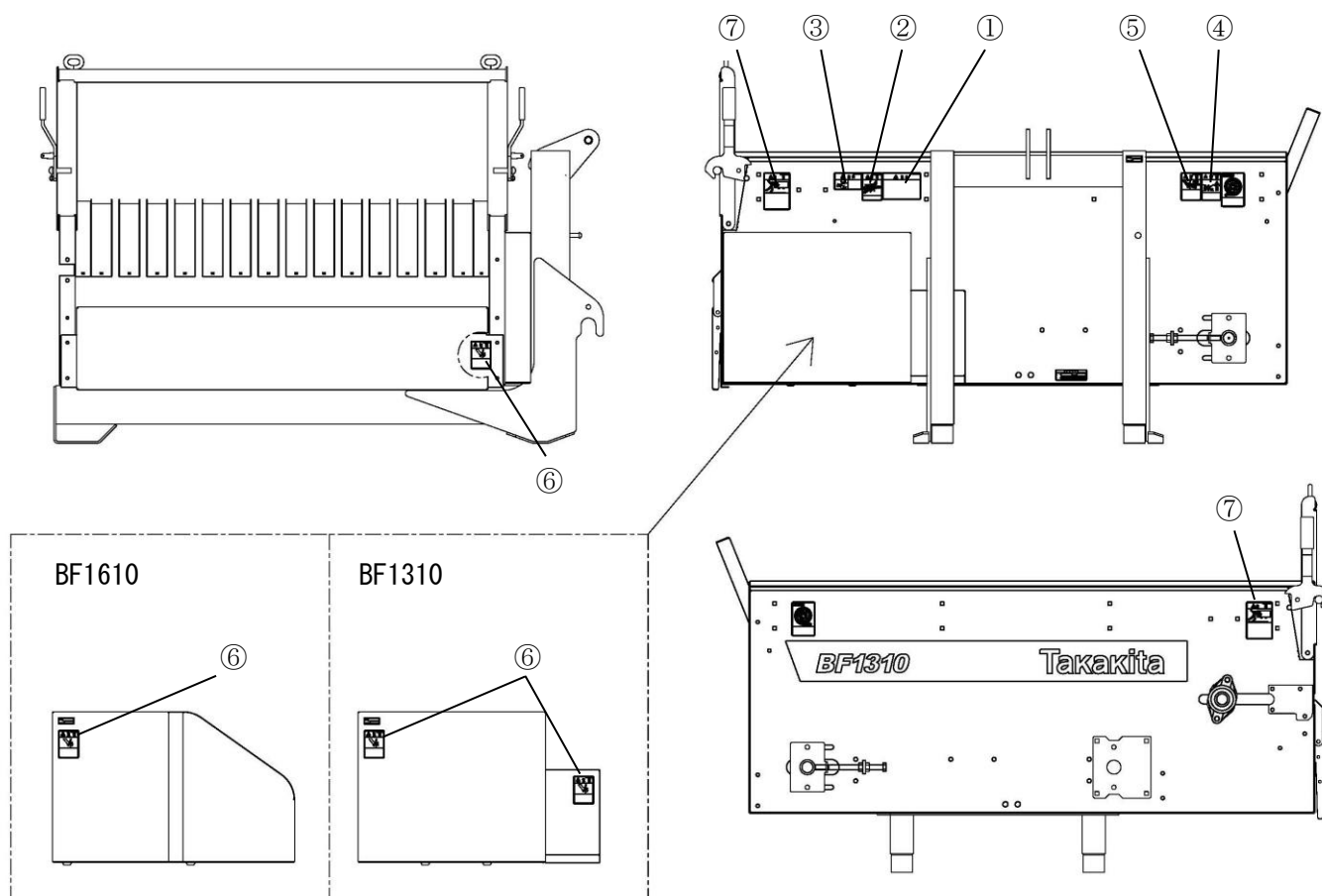
3P アタッチの向きを組換えた時は、公道走行用部品の取付位置が前後反対になるので注意して下さい。



・上図は BF1310 を示しています。BF1610 でも同様の部品が必要となります。

⚠ 安全に作業するために

6. 警告ラベルの貼付位置



① 部品コード 00120-4500-042

001204500042

注 意

1. 取扱いを誤ると事故や故障の原因となりますので、必ず取扱説明書を熟知するまでお読みください。

2. 全部のラベルが所定部分に貼付けられているようにしてください。

3. エンジン始動前に機械の周りに人がいないことを確認してください。

4. 作業中は人や動物を近づけないでください。

5. 運転席を離れるときは、必ず

エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。

6. 斜面での駐車時は歯止めをしてください。

7. 点検・調整等はエンジンを止めて実施してください。

8. 手、足及び衣服を運動部分に近づけないようにしてください。

9. 公道走行はできません。トラック等で運送してください。

② 部品コード 00130-6000-190

001306000190

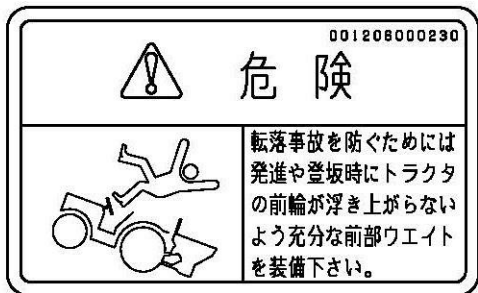
注 意

・高圧・高温液体の噴射注意

③部品コード 00120-8000-230

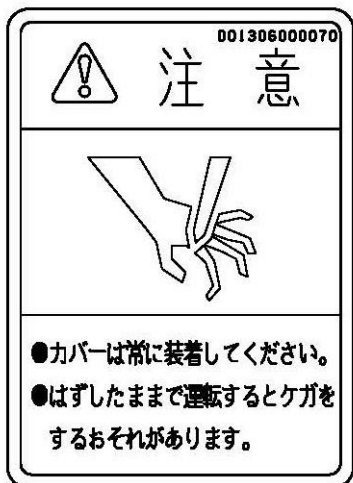
④部品コード 00130-6000-210

⑤部品コード 00130-6000-220



⑥部品コード 00130-6000-070

⑦部品コード 00130-6002-290



警告ラベルの取扱注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、柔らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店または当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。
(ラベルをご注文の際は、部品コードをご連絡ください)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。
気泡は隅へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、ロールベールの解体作業にご使用ください。

使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

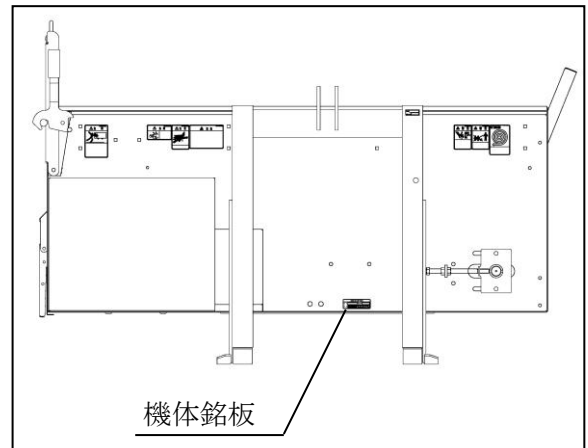
(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。

【連絡していただきたい内容】

- 品名と型式
- 機体 No. (SER-No)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

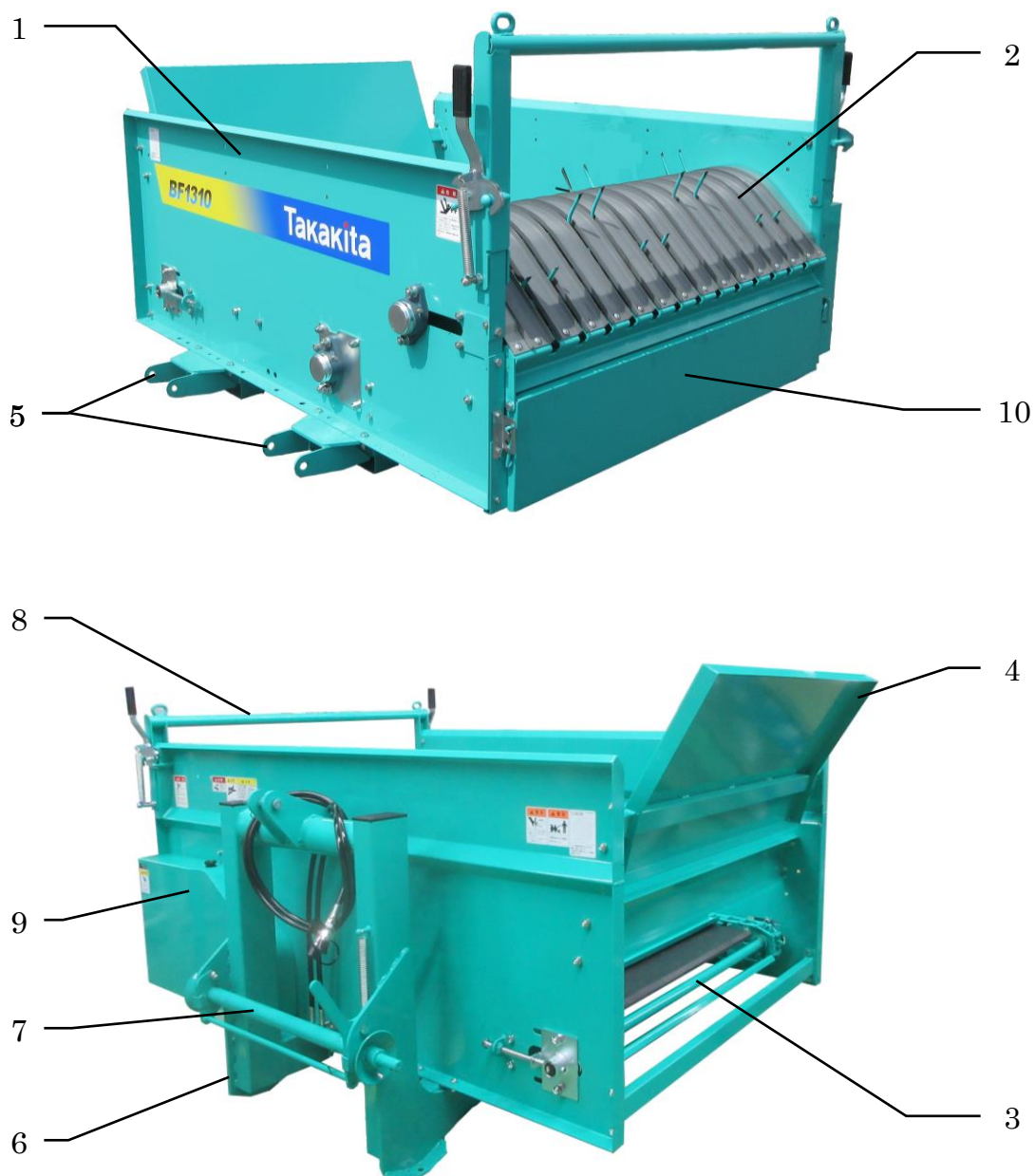


※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品 名	ベールフィーダ
型 式	
機 体 No. (SER-No.)	
購 入 年 月 日	年 月 日
販 売 店 名	TEL : ()

各部の名称とはたらき



番号	名 称	は た ら き
1	ホッパ	ロールベールを入れる部分
2	解体装置	ロールベールを崩す回転ツメ
3	フロアコンベア	ロールベールを解体装置に送るコンベア
4	アオリ	崩れる牧草を受止めフロアコンベアへ落とす装置
5	フォークリフト アタッチ	全体の構成部を保持する。(フォークリフトタイプ専用)
6	3P アタッチ	全体の構成部を保持する。(3P タイプ専用)
7	ヒッチ	トラクターローリンクとフレームとをドッキングする部分
8	前後ステー	解体装置上で詰まった牧草を取り易くする装置
9	チェンカバー	解体装置とコンベアの駆動チェンを覆うカバー
10	排出口すべり台	解体した飼料を機体から遠い位置に排出する装置

各部の名称とはたらき

◆機体方向の説明

この取扱説明書で使用している“前後・左右・左回り・右回りなどの方向は、下図の通りに決めています。



トラクタ(フォークリフト)への装着

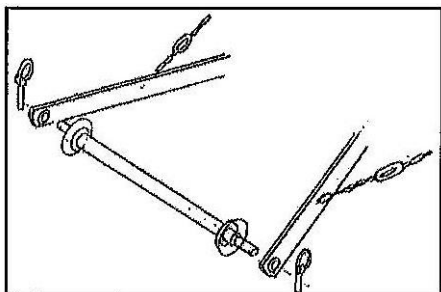
⚠ 警告

- トラクタへの本機の装着は、平坦で安定した場所で行ってください。
 - 3点リンケージへの装着はリンケージの動きに十分注意し、2人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- 以上の事を守らないと傷害発生のおそれがあります。

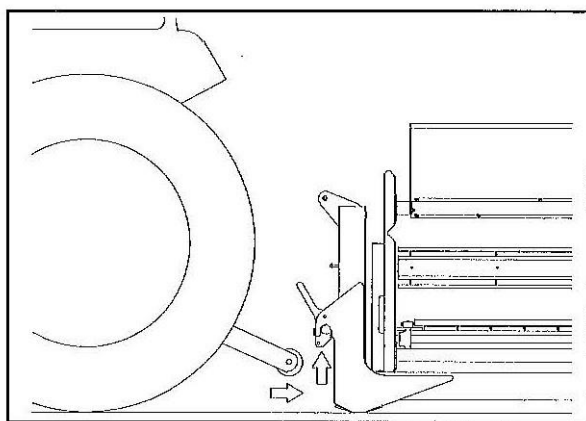
1. 3点リンケージへの装着の仕方

◆3点リンケージの装着順序

- ①トラクタローリンクに本機の2Pヒッチを取り付け、左右に揺れないように必ずトラクタのチェックチェーンを張ってください。

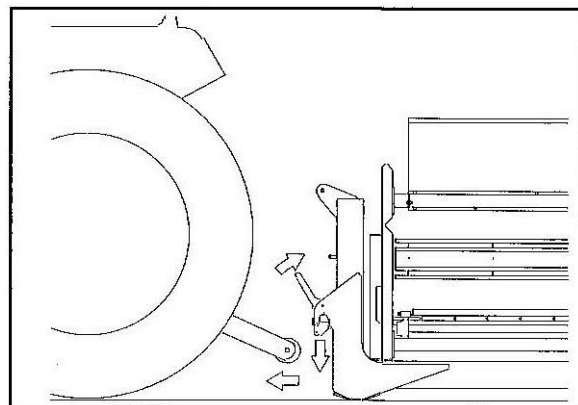


- ②トラクタをバックさせ、2P ヒッチを本機側フックの下まで移動させ、フックにかかるまでローリンクを上げて本機とドッキングしてください。ヒッチは自動的にロックされます。



- ③トップリンクを取り付けてください。

- ④ローリンクの連結を解除する場合はレバーを操作しながらローリンクを下げてください。



◆水平状態に調整するには

トラクタ側のトップリンク及びリフティングロットを使用して、本機が水平になるように調整してください。

◆チェックチェーンで横振れ調整

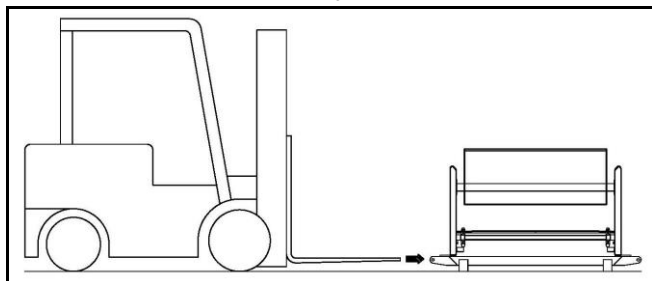
運搬時および作業時、本機の横振れを防止するために、チェックチェーンでトラクタ中心と本機中心が一致するように左右均等に固定してください。

トラクタ(フォークリフト)への装着

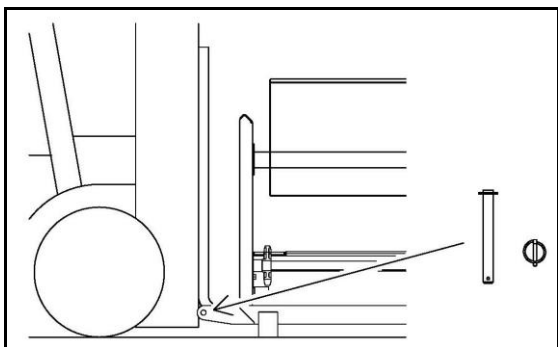
2. フォークリフトへの装着の仕方

◆フォークリフトの装着順序

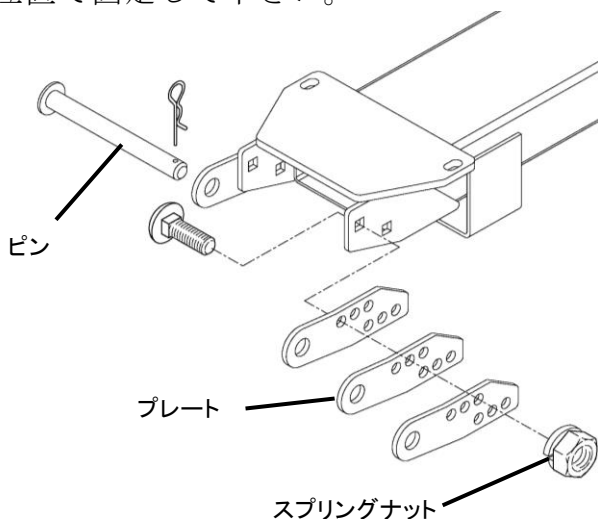
- ①フォークリフトのツメをフォークリフトアタッチの角パイプ部に差し込みます。
ツメが奥まで差し込まれていることを確認してください。



- ②抜け止め用のピンを差し込みます。
リンチピンで抜け止め用のピンを固定し、外れないことを確認してください。



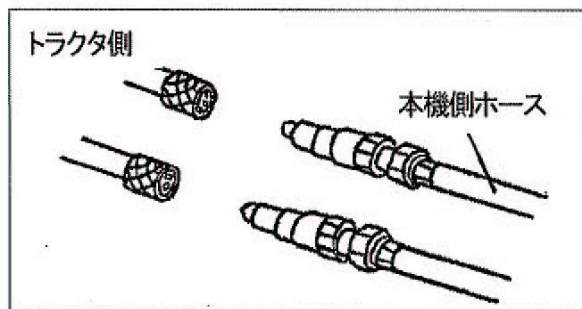
フォークが干渉して抜け止め用のピンが組付かない場合、スプリングナットを外し、プレートの穴位置調節を行ってください。ピンの穴位置は3段階に調節できます。フォークとピンの隙間が小さくなる位置で固定して下さい。



3. 油圧ホースの接続

◆接続

- ①トラクタ(フォークリフト)に本機を装着する。
- ②トラクタ(フォークリフト)のエンジンを停止し、油圧レバーを操作して残圧を抜いてください。
- ③油圧ホースをトラクタ(フォークリフト)の複動力カプラに接続してください。



◆油圧カプラ

アタッチによって組付いている油圧カプラの種類が異なります。

- ・3P アタッチ
1/2 インチオスカプラ 2 個
- ・フォークリフトアタッチ
3/8 インチオスカプラ 1 個
3/8 インチメスカプラ 1 個

注意

- 油圧ホースを外す場合は、トラクタの油圧レバーを押し引きしてトラクタの残圧を確実に取り除いてください。
- 油圧ホースをトラクタから外したときは必ず付属のダストキャップをカプラに差し込み、傷をつけないようにしてください。またゴミは、きれいに拭き取ってください。
- 異なるメーカーの油圧カプラを使用すると、作動不良を生じる場合がありますので同じメーカーのオスカプラとメスカプラで統一してください。(トラクタ純正カップラーの使用をお勧めします。)
- トラクタのオイルが少ない場合も不具合が生じますので、オイル量もチェックしてください。

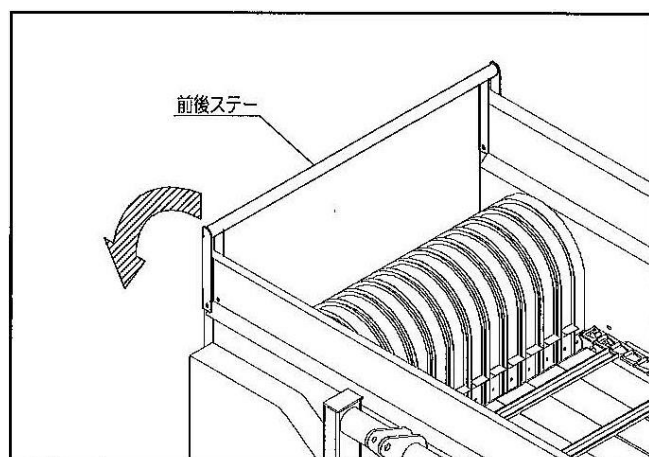
運転に必要な装置の取扱い

1. フロアコンベア・解体装置

フロアコンベア、解体装置は油圧により同期しています。よって複動油圧レバー1本で正逆回転を切り替えることができます。

2. 前後ステー

解体装置部で飼料がつまったときにフックをはずし、つまりを取り除く装置です。



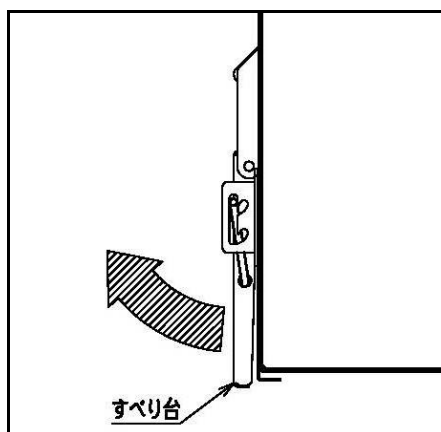
⚠ 警告

つまりを取り除くときは必ずエンジンを止め、回転部が完全に停止してから行ってください。

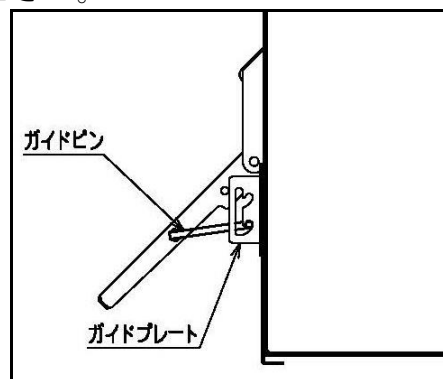
3. 排出口すべり台

飼料を機体から離れた位置に排出するための装置です。

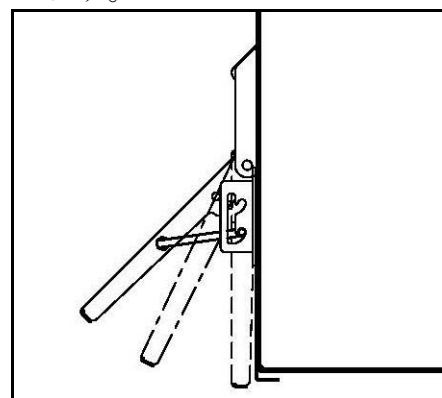
使用するときにはすべり台を引き上げて下さい。



引き上げた後は、両端のガイドピンがガイドプレートにハマっていることを確認してからロールベールの解体作業を開始してください。



すべり台による排出位置の変更は3段階となっています。



すべり台の調整位置によって機体幅が変わるため、移動時や作業時には十分注意してください。

⚠ 警告

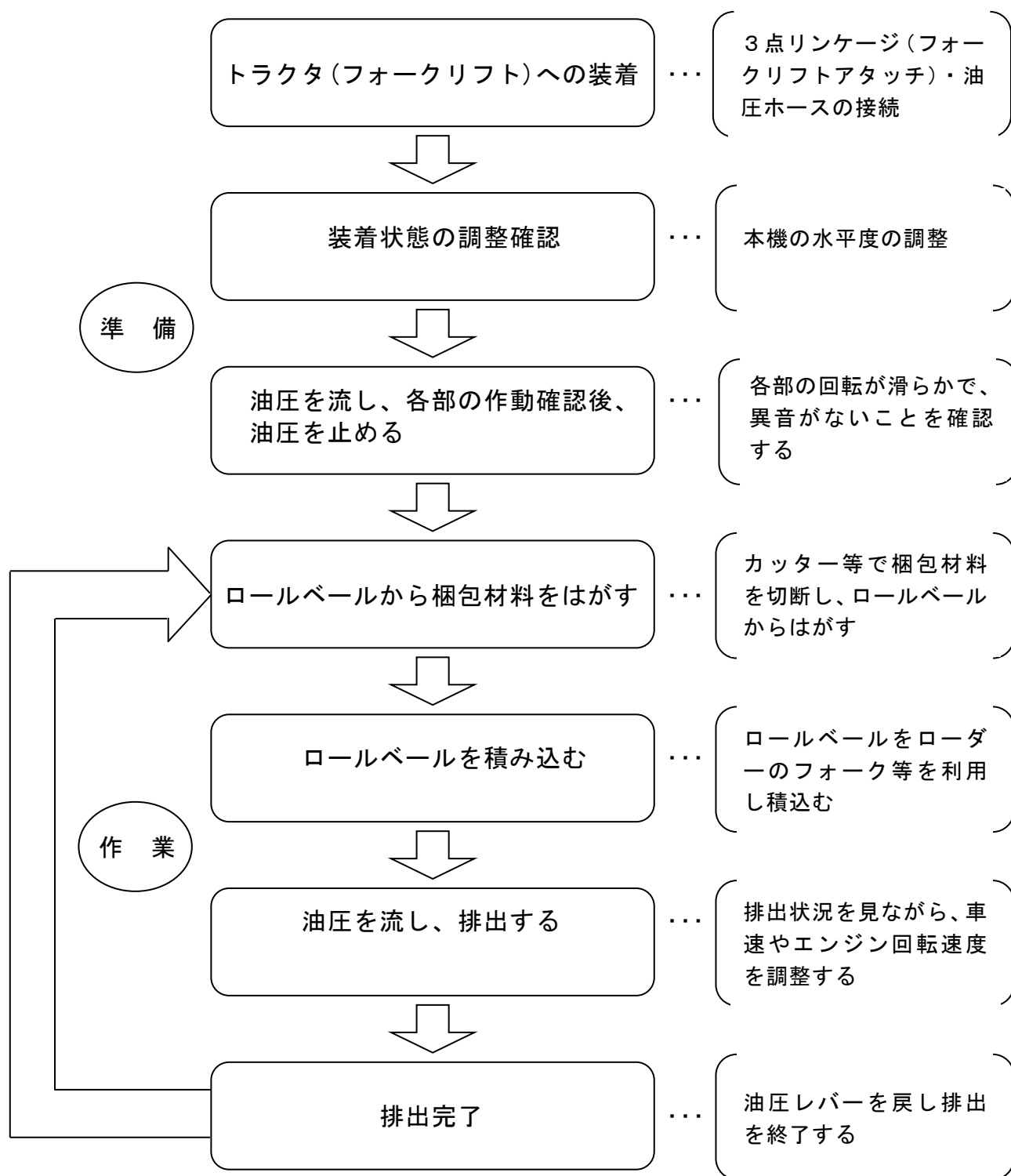
すべり台を調整するときには必ずエンジンを止め、回転部が完全に停止してから行ってください。

⚠ 注意

すべり台を引き上げた状態での運転は十分注意してください。人や物に接触させた場合、傷害事故や本機破損の原因となります。

作業方法

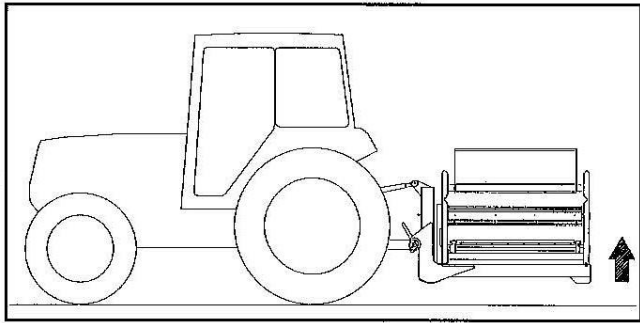
1. 作業手順と要点



作業方法

2. 移動するときは

移動するときは、必ず本機を十分な高さまで吊り上げてから走行してください。

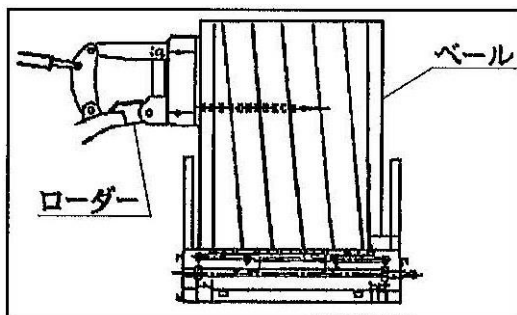


警告

- ①本機を装着しての運転は、周りの条件に適した速度で行ってください。絶対に急発進・急ブレーキ・急ハンドルは行わないでください。
- ②カーブを曲がる時は、重心の変化や機械の幅に十分注意してください。

3. ロールベールの積込み

- ①いったん、トラクタ（フォークリフト）のエンジンを切り、3点リンケージの位置を最下位まで下げ、ロールベールが入れやすい状態にしてください。
- ②カッター等を使用し、ロールベールから梱包材料をはがします。
- ③フロントローダーのフォークなどを利用してロールベールを積込んでください。
- ④ロールベールを完全に本機内の床に下ろしてからフォークを抜いてください。



注意

ロールベールが床から浮いた状態、あるいは高い位置でフォークを抜かないでください。本機が破損したり変形したりします。

4. 排出

排出量はトラクタのエンジン回転速度（オイル吐出量）により変化します。エンジン回転速度が上がるとオイル吐出量が増加して回転速度が速くなり、結果的に排出量が増えます。

◆排出量の調整

- ①排出量を多くするときは
エンジン回転速度を上げる。
走行速度を「遅く」する。
- ②排出量を少なくするときは
エンジン回転速度を下げる。
走行速度を「速く」する。

1回の走行で、排出量が少ないときは2回走行してください。

排出不要な場所では、油圧レバーを“中立”にし、排出を止めてください。

5. 排出作業の方法

◆作業手順について

- ①走行クラッチを入れ、ゆっくりと走行します。
- ②トラクタの油圧レバーを操作し、設定速度で作業してください。

注意

本機の必要油量は 20～40ℓ/分です。

危険

走行開始時は、トラクタの重量バランスを崩しやすい危険な状態にあります。急発進は絶対にやめてください。

注意

より均一な排出を行うためには、排出作業中のトラクタの走行速度を一定に保つようにしてください。また、排出量を確認しながら走行してください。

危険

排出作業に入る前には、機体の前後左右に人や動物のいないことを確認してください。

作業方法

6. ロールベールについて

ロールベールのサイズは下記のものに限ります。下記以外のサイズものは使用しないでください。

型式	直径 (cm)	巾 (cm)	重量 (t)
BF1310	130 以下	125 以下	1.0 以下
BF1310F			
BF1610	160 以下		1.5 以下
BF1610F			

7. ロールベールの保管方法

- ◆ ロールベールを積み上げて保管する場合縦積みになると、ロールベールの変形量が小さく、解体しやすい状態で保管できます。
- ◆ 横積みになると、下のロールベールが大きく変形し、解体しにくくなります。

8. 傾斜地での走行や作業

- ◆ ロールベールを積載して傾斜地での走行や作業禁止
ロールベールを積載して傾斜地での走行作業は、横転の危険がありますので、決して行わないでください。
- ◆ 必ず直角走行・急ハンドル禁止（空車時）
等高線に対して直角方向に走行し、旋回は速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。

危険

斜面の等高線に平行、または斜め走行や急旋回は**横転の危険**がありますので決して行わないでください。

9. 草詰まりした場合の処置方法

作業時コンベア等に草詰まりが発生した場合は以下の手順にて処置を行ってください。

- ① エンジンを停止させ、回転部が完全に停止していることを確認する。
- ② 詰まった草を取り除く。
- ③ 再度エンジンをかけ、コンベアが問題なく回ることを確認してから作業を再開してください。

注意

草詰まり時には無理に逆転操作を行わないでください。コンベアを無理に逆転させるとコンベアバーや床板の破損につながります。



警告

詰まった草を取り除くときは必ずエンジンを止め、回転部が完全に停止してから行ってください。

作業前の点検について

作業の安全確保と故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
作業前の点検は、欠かさず行ってください。



敬告

- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたり危険です。
- 点検整備をするときはP T Oを切り、エンジンを停止させて回転が止まってから行ってください。

点検一覧表

No.	項 目	内 容	参照ページ	チェック
1	前回使用の異常個所	修理、補修が完全に行われているか	-	
2	損傷、汚れ、ボルトのゆるみ	機体の損傷、ゆるみ、ガタつきがないか	-	
3	オイル	オイルの量、汚れ、油もれ	-	
4	フロアコンベアチェーンの張り	適正な張力となっているか	25	
5	ローラチェーンの張り	適正な張力となっているか	25	
6	油圧ホース	損傷、油もれ	-	
7	回転部の草の巻付き	巻付いた草を除去する	26	
8	各部の回転	各部の回転は正常か	-	
9	各部への注油・グリスアップ	各部への給油は十分か	27	

以上について異常が認められない場合は、エンジン回転速度を低速にし負荷をかけず、3～5 分間ならし運転を行ってから作業を始めてください。

[illegible]

簡単な手入れと処置

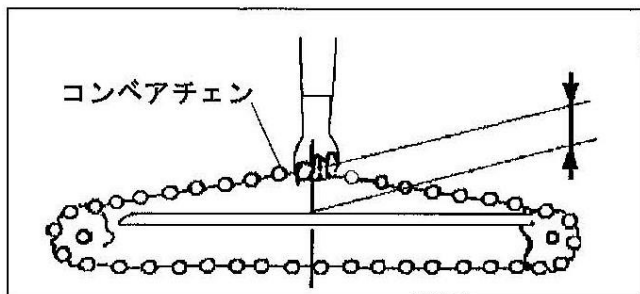
警告

- ①各部の調整をするときは、エンジンを停止させて回転部が完全に止まってから行ってください。
- ②取外したカバー類は、必ず取付けてください。

1. フロアコンベアチェン

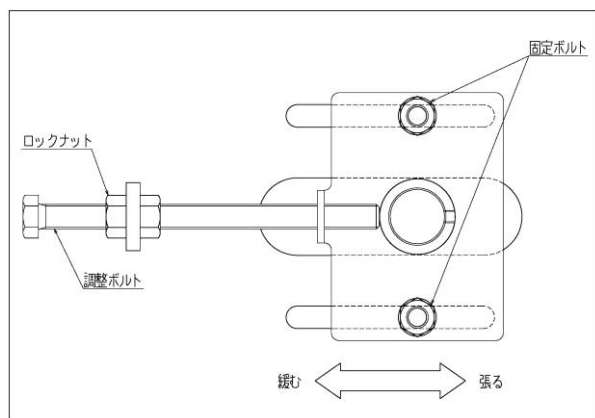
コンベアバーの中央部を手で持ち上げて床面との距離が下記の数値になるように調整します。

BF1310, BF1310F	30~40mm
BF1610, BF1610F	40~50mm



●調整の仕方

- ①固定ボルトを緩める。
- ②ロックナットを緩める。
- ③調整ボルトで張りを調整する。
- ④ロックナット、固定ボルトを締める。



- コンベアチェンの調整後は、必ず試運転を行い、チェンの張りに片寄りがないか確認して下さい。
- コンベア内部の草詰まりは、チェンの耐久性に悪影響を及ぼしますので定期的に草を取り除いて下さい。

2. ローラチェンの張り調整

注意

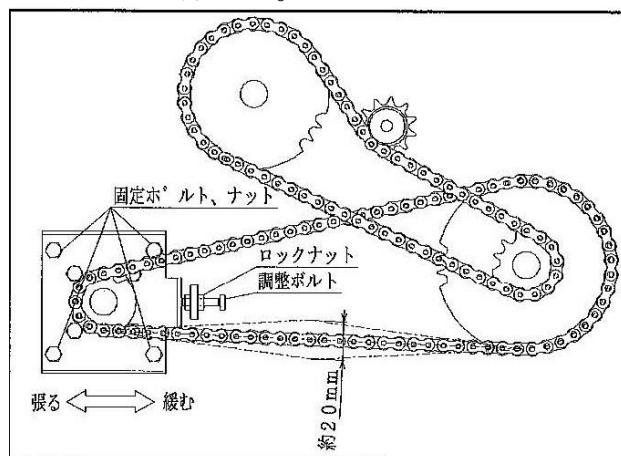
ローラチェンは特に初期伸びをします。初めての使用から10時間後は下記に従って、張り調整を行ってください。

◆フロアコンベア駆動チェン

たわみ量が約20mmになるよう調整してください。

●調整の仕方

- ①モーターベースの固定ボルト、ナットを緩める。
- ②ロックナットを緩める。
- ③調整ナットで張りを調整する。
- ④ロックナット、モーターベースの固定ボルトを締める。

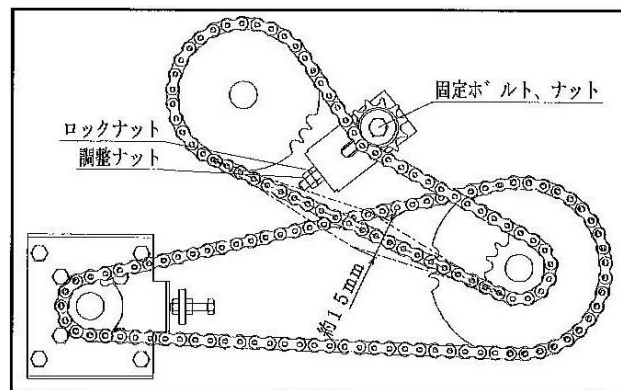


◆解体装置駆動チェン

たわみ量が約15mmになるよう調整してください。

●調整の仕方

- ①スプロケットの固定ボルトを緩める。
- ②ロックナットを緩める。
- ③調整ナットで張りを調整する。
- ④ロックナット、スプロケットの固定ボルトを締める。



簡単な手入れと処置

3. 日常の管理について

- 回転部に巻き付いた草や梱包材料は、その都度取り除いてください。故障の原因となります。
- 作業終了後は、常に掃除をするように心掛けてください。



警告

巻き付いた草、梱包材料を取り除くときや掃除をするときは、エンジンを完全に停止させてから行ってください。

4. 長期格納時の手入れ

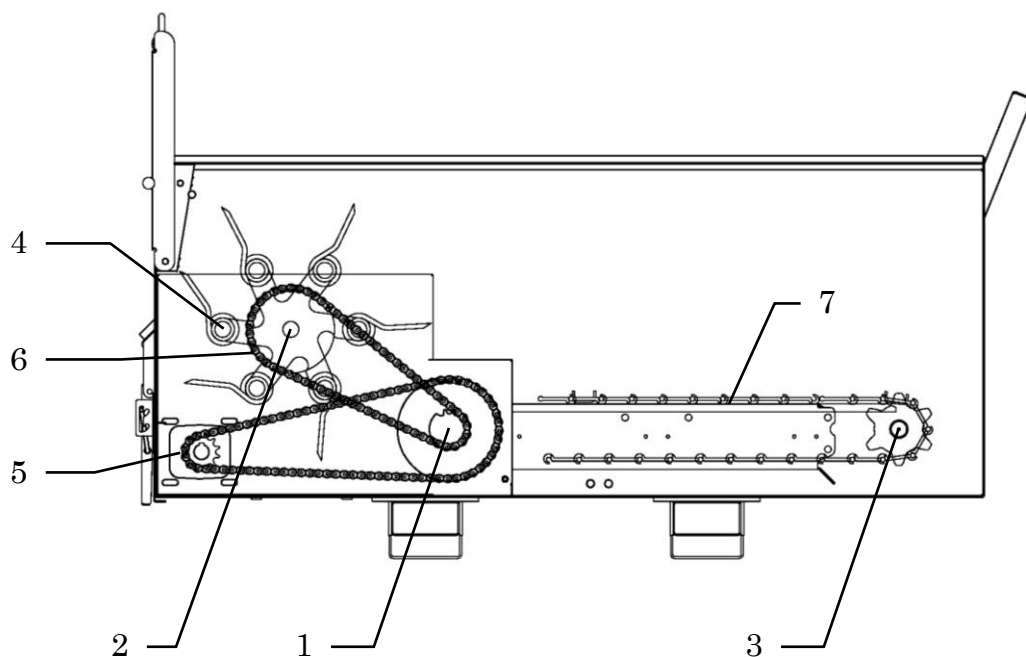
作業が終了したら、次期の使用時に備え、末長くご利用いただくためにも、十分な手入れを行ってください。

- 水洗いをして付着した飼料、泥やほこりなどを念入りに取り除いてください。
- 乾燥後は各回転部、チェン、スプロケットに十分注油またはグリス塗布をし、錆びないようにしてください。
- 塗装のはがれた部分には、補修塗料を塗り錆が出ないようにしてください。
- 各部のボルト、ナットが緩んでいないかを確認し、緩んでいる所は締めてください。
- 各部の点検を行い、不調部は部品交換や修理を済ませておいてください。
- 格納する場所は、雨やほこりのかからない屋内に保管してください。
- 格納は平坦な場所で保管してください。

簡単な手入れと処置

5. 各部への注油・グリスアップ

下図の所へ注油、グリスアップしてください。



No.	グリスアップ・注油箇所			頻度
1	グリス	フロアコンベア駆動軸ベアリング	前後 2 箇所	10 時間毎
2		解体装置駆動軸ベアリング	前後 2 箇所	10 時間毎
3		フロアコンベアテンション軸 軸端部	前後 2 箇所	10 時間毎
4		解体装置タイン支持部	前後 12 箇所	10 時間毎
5	注油	フロアコンベア駆動チェン		10 時間毎
6		解体装置駆動チェン		10 時間毎
7		コンベアバー、デタッチャブルチェン ユカサン接触部		10 時間毎

不調診断

不調内容	診 断	処 置	参照ページ
●フロアコンベア、解体装置が回転しない	●トラクタの作動オイル不足	●トラクタのオイルを補給する	－
●排出量が多い	●走行速度が遅い ●トラクタのエンジン回転速度が高い	●走行速度を速くする ●エンジン回転速度を低くする	22
●排出量が少ない	●走行速度が速い ●トラクタのエンジン回転速度低い	●走行速度を遅くする ●エンジン回転速度を高くする	22

付表

1. 主要緒元

品 名		ベールフィーダ			
型 式		BF1310	BF1310F	BF1610	BF1610F
装 着 方 法		3 点リンク直装式 カテゴリⅡ	フォークリフト	3 点リンク直装式 カテゴリⅡ	フォークリフト
駆 動 方 法		複動油圧 1 系統			
適 用 ト ラ ク タ kW(ps)		44.1～110.3 (60～150)	—	58.8～110.3 (80～150)	—
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1920	1780	1920	1780
	全 幅 (mm)	1990		2310	
	全 高 (mm)	1260	1200	1320	1270
質 量 k g		525	465	610	550
適 応 ベ ー ル 寸 法 (cm)		直径 130 以下、幅 125 以下		直径 160 以下、幅 125 以下	
作 業 能 率 (分/個)		2～5			

※この主要緒元は、改良のため予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品

品 名	部品コード	備 考
コンベアバー	66114-2110-000	
デタッチャブルチェン#78	66114-2191-000	代替部品コード:11631-1922-001(黒色)
タイン	66114-3393-001	